

令和2年度

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート 代表 三井 福成								報告年月日:2021/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2						
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括	
景 観	地域の景観資源を守ろう、活かそう	歴史的な景観資源を発掘し継承する	—						花壇整備などを通して、地域の景観づくりと地域間の連携基盤づくりを継続的に進めている。また、シーニックカフェの充実化を図ることによりルート内の景観、情報等を情報発信する場が増えている。広域連携として実施している「人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト」は、植樹と合わせて維持管理を行うなど美しく新しい景観を創出するための活動を継続的に取り組んでいる。
		十勝の山麓・平野に広がる美しい田園景観を活かす	シーニックカフェ	十勝平野・山麓ルート (観光振興分科会)	令和2年4月～令和3年3月 (カフェにより期間異なる)	主催者:20名程度 カフェ:12箇所	—		
			—	—	—	—	—		
	特色溢れる景観を創出しよう	景観の見せ場を創る	—	—	—	—	—	—	
		沿道を花と緑で彩る	—	—	—	—	—	—	
			北海道ガーデン街道との連携事業:人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	シーニックバイウェイ＆ガーデン街道 美しい北海道景観を育てる会	令和2年4月～令和3年3月	主催者:60名程度	—		
			花植え・清掃活動	十勝平野・山麓ルート (地域部会)	令和2年6月～令和2年7月	60名程度	A — 3		
	沿道景観を取り巻く環境向上に向けた取り組み	道路工作物の景観を整える	—	—	—	—	—	—	
		手入れの行き届いた沿道景観をつくる							
	地 域	地域が一体となった情報発信の検討	広域的な地域情報発信の連携	シーニックカフェスタンプラリー	十勝平野・山麓ルート (観光振興分科会)	令和2年8月1日～10月18日	応募77人 (カフェ12箇所)	A - 1	シーニックカフェの充実化がはかられたことから、連携して情報発信を行うため、ルート独自でのシーニックカフェスタンプラリーを継続して開催したほか、ルートマップを作成し、シーニックカフェ、100年の木プロジェクト、看板再生事業等ルートの活動や、地域情報を掲載することにより、地域活性に繋がる情報発信に努めた。今後も情報発信を継続的に行うことが重要と考える。
ルートマップの作成				十勝平野・山麓ルート (観光振興分科会)	令和2年11月～令和3年3月	主催20人	A - 2		
—				—	—	—	—		
—				—	—	—	—		
—				—	—	—	—		
—				—	—	—	—		
沿道での情報発信による案内誘導の仕組みづくり			—	—	—	—	—		
			—	—	—	—	—		
地域のシーニック運営への意識を高めよう		持続的なルート運営の為の運営体制の検討	—	—	—	—	—	—	
		地域にシーニックを浸透させよう	—	—	—	—	—	—	

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウエイ十勝平野・山麓ルート 代表 三井 福成				報告年月日:2021/3/31				
観光	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	R2					
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
	地域の農・食・産品を繋げて活かそう	地場産品・食をPRする	—	—	—	—	—	—
		農業を活かす	—	—	—	—	—	—
		個店を活かす仕組みづくり	—	—	—	—	—	—
	提案型観光地づくりの検討	野外活動型滞在観光地づくり	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—
		健康保養型滞在観光地づくり	—	—	—	—	—	—
	地域資源の発見と共有に取り組もう	地域資源の発見と共有	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	

十勝シーニックバイウェイ十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：シーニックカフェスタンプラリー

- 【概要】訪れた人に楽しんでいただきながらルート内のシーニックカフェを巡っていただき、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくとともに各シーニックカフェの利用促進を図ることを目的にルート独自で実施している。
- 【実施内容】参加施設にスタンプラリーパンフレット及びスタンプを設置し、参加者はラリー参加施設の2カ所以上のスタンプの押印で応募が可能。スタンプ押印数により景品が抽選で当たる。
- 【開催期間】令和2年8月1日（土）～10月18日（日）
- 【主催】十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加施設】十勝平野・山麓ルート内シーニックカフェ12カ所
- 【応募人数】77名（十勝管内：53名、十勝管外：15名、北海道外9名）

サイズ：見開きA4（観音折り）

（表）



（裏）



（参加施設）

シーニックカフェ	市町村
YORKSHIRE FARM	新得町
カフェダイニング サルビア	清水町
美苺亭	清水町
十勝千年の森	清水町
展望レストランとかち亭	清水町
カントリーパパ	鹿追町
士幌高原ヌブカの里	士幌町
ナイトハイ高原牧場ナイトテラス	上士幌町
三国峠café	上士幌町
レストランあしよろ	足寄町
ソフトクリーム工房	陸別町
K'sキッチン（コミュニティプラザ☆ぶらっと内）	陸別町

十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：ルートマップ

【概要】 ルート内のオススメスポットやアウトドア情報、道の駅等を掲載した観光客が手に取りやすいマップを作成し、ルート内周遊や再訪を促すツールとして配布した。また、十勝平野・山麓ルートの魅力を知っていただくために、シーニックカフェスタンプラリーや100年の木プロジェクト等の活動を掲載し、PRを行った。

【作成】 令和2年11月～令和3年3月

【発行】 令和3年3月

【主催】 十勝シーニックバイウェイ
十勝平野・山麓ルート

【配布先】 十勝平野・山麓ルート内自治体道の駅、商工会および観光協会など

【仕様】 印刷部数：15,000部
サイズ：A2（DM折り）

（情報面） 各町のオススメスポット、観光情報、ルート活動等



（マップ面） シーニックカフェやおすすめの道などのドライブ情報等



十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

TOKACHI Scenic Byway TOKACHIHEIYA・SANROKU route

活動名：環境美化活動「花壇植栽」

- 【概要】 訪れた人にルート内の美しい景観を楽しんでいただく、おもてなしの気持ちと再訪を促す目的で実施している。
- 【実施内容】 道の駅「あしよろ銀河ホール21」（足寄町）、「ひまわりの道」（陸別町）の花植え
- 【開催期間】 令和2年5月～10月
- 【主催】 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート
- 【参加人数】 約60名



道の駅「あしよろ銀河ホール21」周辺（足寄町）

シーニックバイウェイをPRしたプランター

「ひまわりの道」（陸別町）

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート	報告者: 帯広開発建設部	報告年月: 2021/3/31
--------------------------------	--------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	令和2年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	人と未来をつなぐ100年の木プロジェクト	令和2年4月～令和3年3月	自治体 商工会 帯広開発建設部	植樹維持管理調査報告書の確認等を行った。植樹箇所は国道以外の場合もあることから、関係自治体等と連携して進めていく必要がある。	行政機関とルートが連携した取組を行うことにより効果がよりいっそう高くなっている。今後も行政とルートとの連携を強化しPRのため広域での取組を行っていく必要がある。	
観光	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	十勝シーニックバイウェイPR活動	令和2年4月～令和3年3月	帯広開発建設部	帯広空港ターミナルビル株式会社の協力を得て、十勝シーニックバイウェイの景観や活動の紹介、説明などのPRロールスクリーンの展示とルートのフォトコンテスト作品展を行った。空港での開催であるため、道外からの観光客が多く、十勝の魅力を発信する機会となった。今年度は道の駅(3駅)や十勝総合振興局においてもロールスクリーン展示を行った。また、昨年度に引き続き、帯広地方第2合同庁舎、道東占冠PA、道の駅ピア21しほろ等での、PRポスターの展示やデジタルサイネージの活用をし、十勝SBWの周知を行った。今後もイベントや情報発信を行っている施設等でのPR活動を積極的に行っていきたい。		